

ワーク・ライフ・バランス相談室

※2021年4月より、ワーク・ライフ・バランス相談は外部委託事業となりました。
相談員は引き続き、7年間にわたり本学で従事された木下氏(シャインスピーク代表)になります。

お困りごとはありませんか? ワーク・ライフ・バランス相談員が悩みごと(仕事と家庭生活の両立、妊娠・出産・子育て、介護、研究室や職場の人間関係等)の相談をお受けします。原則として、ご本人が希望しない限り、個人情報等はどこにも提供いたしません。安心してご相談ください。

問い合わせ・予約先

ワーク・ライフ・バランス相談員
木下 薫
✉ ncu-wlb@shinespeak.page
☎ 090-6397-8826



LINE QRコード

各保育所の紹介

本学では、ダイバーシティ推進の趣旨を踏まえた労働・研究環境等の整備のための施策のひとつとして、3か所の学内・院内保育所を各自運営しています。



市立大学・病院
(定員70名)



さくらんぼ保育所

日中は暖かい日が増えてきました。園庭で0歳児から6歳の子どもたちが一緒にいることもあって、そんな中で、小さい子に優しく声をかける大きい子達の姿や、小さい子がお姉ちゃん・お兄ちゃんの後についていく姿も見られています。

夏に皆できゅうりやオクラを採って食べたり畑に芋掘りをして食べたプランターや畑には新たな花や野菜が植えられて、子ども達は追いかけてや砂場や三輪車等で遊びながら、花や野菜の葉に触れてみたり水をあげたりもして楽しんでいました。

ぼっぼ保育所

ぼっぼ保育所の1日 ～クッキング編～

「年明けうどん」をご存知ですか。純白で清楚なうどん、また太くて長いことから長寿を祈る縁起物として年初に食べると良いとされています。

今年はうどん作りに挑戦しました。調理師が小麦粉からうどんに変わる様子を実演し、衛生面に配慮して、子どもたちは「こねる」「踏む」「切る」といった作業を体験しました。自分で作ったうどんは特別に美味しかったようで、いつも以上に「おかわり」とたくさん食べていました。



東部医療センター
(定員33名)

西部医療センター
(定員45名)



くさのみ保育所

「おには一そと、ふくは一うち」。子ども達が豆まきごっこをして遊んでいると、突如黒鬼が登場。ちょっぴり顔が引きつりながらもこごぞとばかりに豆を投げはりきっていました。

最後には2歳児さんが鬼にお手紙を渡し、黒鬼さんと仲良くなり記念写真をパチリ!楽しい豆まきとなりました。たくさんの福を呼び寄せみんなが平和で幸せに暮らせる1年になりますように。



2022年5月1日現在、本学の女性教員比率は **23.4%** です。

NEWS

2021年4月より東部医療センター・西部医療センターが、本学の医学部附属病院になりました。

NEWS LETTER

名古屋市立大学ダイバーシティ推進センターニュースレター

名古屋市立大学ダイバーシティ推進センター
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川邊1
TEL:052-853-8588
E-MAIL:sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp
http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/gender/



Vol.23
2023.Mar.

名古屋市立大学ダイバーシティ推進センター長からのメッセージ

今年度から、男女共同参画推進センターをダイバーシティ推進センターと改組し、新たな活動を開始しました。人間の多様性を重んじ、多様な人々が活躍することが重要であり、それが大学の活力や創造力を向上させるとの考えのもと、男女共同参画の実現、次世代育成の支援、障害者・高齢者・外国籍の人々の学びと就労の推進に力を入れています。多様な個性を持つ学生の学びの環境を整えるとともに、教職員の労働環境を整え、ワーク・ライフ・バランスの実現できる環境整備に取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響により、オンラインで行われていた会議や研究会、学生の講義も最近では対面で実施されることが増えてきました。一方で、対面とweb参加の選択ができるハイブリッド開催の形式も新たに誕生し、育児や介護などにより対面での参加が難しい方々でも受講できるというのは、生涯学習においても良い変革だと思います。

センターとしては、本学のすべての教職員と学生がダイバーシティに対してさらなる理解を深め、仕事・学修を含めたそれぞれの生活が充実するように、ダイバーシティ講演会の開催や、教養教育の中にもセンターが担当する科目を設けています。また、センターの事業内容につきましては、大学のHP等でも詳細に報告しております。そちらも合わせてご覧いただけますようお願い申し上げます。



センター長 窪田 泰江
(看護学研究科教授・学長補佐)

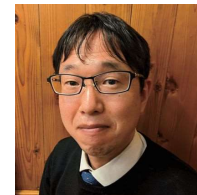


ダイバーシティ推進セミナー オンライン(Zoom)開催 「多様な日本社会に向けて大学に期待すること・できること」

1月26日にダイバーシティ推進セミナーを開催し、学生・教職員あわせて65名の参加となりました。講師として、地域多文化ネット「WKY」共同代表及び大府市神田公民館館長を務める、北井康弘氏をお迎えいたしました。

セミナーでは、地域で活動している立場から、ご自身の活動や地域の多文化共生への意見などに加え、大学に何を期待するかをお話いただきました。また、本学の心理学のグループにおける多様性理解に関する研究結果を、本センター副センター長の久保田健市教授よりお話しいただきました。

セミナー後は、「自分の価値観を当たり前と思わずに、自分の価値観を一度疑ってみようと思った」「異文化共生のためにはお互いに先入観にとらわれずお互いのことをよく知ることが大切だと思った」「異文化を理解すると同時に、自文化を理解することや自文化の当たり前を疑うことが大切だと感じた」といった感想が寄せられ、多文化との共存について考える貴重な機会となりました。



北井 康弘 氏



セミナーのチラシ

- P1 ● センター長からのメッセージ
● ダイバーシティ推進セミナー
- P2 事業報告
● 研究支援員制度(利用者の声)
● ワークライフバランス講演会

- P3 事業報告(続き)
● ダイバーシティ推進奨励賞 ● 教養教育科目「大学特色科目」の紹介
- P4 事業報告・お知らせ
● ワークライフバランス相談室
● 各保育所のご紹介(さくらんぼ保育所・ぼっぼ保育所・くさのみ保育所)



研究支援員制度 利用者の声

出産、育児、介護等により研究時間が限られている研究者の研究活動を維持・促進することを目的として、毎年度、研究支援員を配置しております。令和4年度は男性3名、女性1名の研究者が採択されました。本制度をご利用いただいた皆様の声をご紹介します。

人間文化研究科 准教授 米川 和雄

子育てと研究の両立が難しい中、1～5年間滞っていた複数の執筆作業を進ませることができ、大変助かりました。

とくに若手の支援員からの意見に“はっ”と気づかされる素敵な機会となりました。

医学研究科放射線医学 講師 中川 基生

育児中は研究室や院内にいる時間がかざられているため、特に臨床データを収集することに困難を感じていました。

研究支援員を配置していただいたため、研究を進めることができました。ありがとうございます。

医学研究科放射線医学 講師 服部 有希子

隙間時間でしか研究に取り組みなかったところ、この研究支援員制度のおかげでテンポよく進めることができました。

支援員にとってもデータ集積や解析などで学びがあれば幸いです。ありがとうございました。

医学研究科 共同研究教育センター中央放射線部 助教 太田 賢吾

育児をしながら研究活動を行う中で、支援員制度を使用させていただき、大変な力になりました。

また、支援員の方も研究活動に携わっていただき、今後の活動へのステップになっていけば大変うれしく思います。

ワークライフバランス講演会 オンライン(Zoom)開催 「多様な日本社会に向けて大学に期待すること・できること」

3月17日にワークライフバランス講演会をZoomによるオンラインで開催し、学生・教職員あわせて41名が参加しました。

講師として、民間企業や大学法人等でコンサルティングや研修に多数従事されている、堀江咲智子氏(ワーク・ライフバランスコンサルタント)をお迎えいたしました。

セミナーでは、多様な人材が持つ力を結集して、よりよい仕事を限られた時間で行っていくために何が必要なのか、また、具体的に明日から取り入れられる方法や、他団体で既に行われている事例も紹介しながら、これからの組織に必要な働き方についてお話いただきました。

講義後のアンケートでは、「睡眠不足がもたらす影響が図や表で分かりやすく示されており、中でも起床後15時間を超えると酒酔運転と同程度しか集中力が保てないという話には驚いた」「ワークライフバランスを推進するには役職者の方が率先して実行することが大切だと思った」「他大学や民間企業での取り組み内容をご紹介いただき、意識を変えて明日からでも実践していきたい」といった感想が寄せられました。



堀江 咲智子氏

ワークライフバランス講演会
～経営戦略としてのワーク・ライフバランス～

■Zoom開催
2023年3月17日(金) 15:00～16:30

■対象
教職員及び本学学生

■申込方法
[sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp] こちらのメールアドレスまでお申し込みください。

講師 堀江咲智子氏
「ワーク・ライフ・バランス」を軸に、多様な人材が持つ力を結集して、よりよい仕事を限られた時間で行っていくために何が必要なのか、また、具体的に明日から取り入れられる方法や、他団体で既に行われている事例も紹介しながら、これからの組織に必要な働き方についてお話いただきました。

お問い合わせ 受付時間 9:00～17:00
ダイバーシティ推進センター
TEL:052-853-8588
FAX:052-841-6201

セミナーのチラシ

第10回ダイバーシティ推進奨励賞表彰式・事例報告会

1月27日に、第10回ダイバーシティ推進奨励賞表彰式・事例報告会を開催しました。

本件は、多様性を尊重し様々な人材が活躍できる社会の実現に関連する優れた研究・活動等を行っている本学の教職員、学生、卒業生に対して、学長から表彰を行うもので、今年度で10回目となりました。

受賞者	
活動・学生部門	研究・学生部門
障害者問題研究会「障害者の方との交流ボランティア」	社会調査実習宮下班 「起業のジェンダー差に関する研究:起業家、支援者、行政の三層に着目して」

今回は2件が受賞となり、受賞後に各自報告を行いました。先駆的な取り組みや特色のある活動報告に、郡理事長、浅井学長も非常に熱心に耳を傾けられ、活動を通じてどのようなことを学んだか、また社会人として羽ばたくにあたり、今回の経験をぜひ生かしてほしいとお話しくださされました。時にはユーモアを交えながら活発な意見交換が行われ、ダイバーシティ推進の実現に向けて、より一層理解が深まるとともに、各々の研究・活動の持続的発展が期待される、大変意義のある会となりました。ダイバーシティ推進奨励賞は、本学卒業生も対象となっております。本学ホームページやポスターでもご案内しますので、みなさま奮って応募ください。



表彰式の様子

教養教育科目「大学特色科目」の紹介

ダイバーシティ推進センターでは、学生が社会的性差(ジェンダー)と平等について理解し、考え方や行動に生かすことができるように、平成24年度から「大学特色科目」として、前期と後期に1科目ずつ開講しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策をした上で対面講義を再開しました。

前期 地域社会で活躍する女性



講義の様子

ジェンダーについて総合的な知識、情報を得るとともに、企業や自治体における男女共同参画への取り組みや女性経営者たちの経験を通して、社会における新しい働き方を学ぶ科目です。ジェンダーの固定的役割にとらわれることなく、柔軟な発想と多様性の尊重により、企業や自治体における男女共同参画をふまえた働き方を考える機会となりました。

第1回(4/15)	ダイバーシティ推進センター長 窪田泰江	ガイダンス
第2回(4/22)	名古屋大学大学院 法学研究科 教授 田村哲樹	ジェンダー論
第3回(5/6)	名古屋大学 市民生活部男女平等参画推進室	男性の家庭参画
第4回(5/13)	名古屋大学 市民生活部男女平等参画推進室	名古屋市の男女共同参画
第5回(5/20)	名古屋大学 市民生活部男女平等参画推進室	名古屋市の女性の活躍(1)
第6回(5/27)	名古屋大学 市民生活部男女平等参画推進室	名古屋市の女性の活躍(2)
第7回(6/3)	株式会社システム 代表取締役社長 塩崎敦子	企業における女性の活躍(1)
第8回(6/10)	社会保険労務士法人名経経営 特定社会保険労務士 宮武真美	企業における女性の活躍(2)
第9回(6/17)	中北薬品株式会社 総務人事本部長 森有紀子	企業における女性の活躍(3)
第10回(6/24)	リサーチ・トラスト株式会社 人事企画部 吉田幸代	企業における女性の活躍(4)
第11回(7/1)	一般社団法人中部SDGs推進センター 副代表理事 百瀬剛子	企業における女性の活躍(5)
第12回(7/8)	株式会社キャリアビジョン 代表取締役社長 野村恵美子	企業における女性の活躍(6)
第13回(7/15)	特定非営利活動法人参画プラネット 常任理事 重原博子	男女共同参画の推進
第14回(7/22)	ダイバーシティ推進センター長 窪田泰江	全体討論
第15回(7/29)	ダイバーシティ推進センター副センター長 久保田健市	全体討論

後期 ワーク・ライフ・バランスとダイバーシティ



グループワークの様子

名市大の7研究科と大学病院の教職員が理系・文系という学問の多様性を越えてジェンダーについて多面的に講義を展開しています。学生はその学びをもとに、ジェンダーバランスとワーク・ライフ・バランスの観点から考えた望ましい組織についてグループワークを行いました。

第1回(9/30)	ダイバーシティ推進センター副センター長 久保田健市 名古屋大学 役所人権施策推進室	ガイダンス/ 同和問題(部落差別)の正しい理解
第2回(10/7)	理学研究科 教授 鎌田直子	ジェンダーと科学
第3回(10/14)	医学研究科 准教授 植木美乃	医療におけるワークライフバランス
第4回(10/21)	薬学研究科 准教授 豊玉彰子	大学におけるダイバーシティ
第5回(10/28)	病院診療技術部放射線技術科 診療放射線技師 土屋貴裕	仕事と家庭人の両立
第6回(11/4)	病院看護部 看護士 古川陽介	男性看護士から見たダイバーシティ -看護における男性・女性の協力-
第7回(11/11)	看護学研究科 准教授 大橋麗子	子どもの人権と児童虐待
第8回(11/18)	看護学研究科 准教授 杉浦和子	就労女性の健康支援
第9回(11/25)	芸術工学研究科 教授 鈴木賢一	ダイバーシティとユニバーサルデザイン
第10回(12/2)	経済学研究科 教授 山本陽子	ワークライフバランスと企業業績
第11回(12/9)	人間文化研究科 准教授 宮下さおり	職業におけるダイバーシティ
第12回(12/16)	人間文化研究科 准教授 宮下さおり	職業と家庭生活の調和 -オーラダモデル-
第13回(12/23)	経済学研究科 教授 藤田菜々子	少子化とワークライフバランス -1930年代のスウェーデンの経験-
第14回(1/20)	ダイバーシティ推進センター副センター長 久保田健市	グループワーク
第15回(1/27)	ダイバーシティ推進センター副センター長 久保田健市	ダイバーシティ推進センター企画への参加